

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果報告

先日、文部科学省および横浜市教育委員会から、全国学力・学習状況調査の全国平均、神奈川県平均、横浜市平均が発表されました。すみれが丘小学校の6年生は国語・算数ともに全国平均を上回っていました。調査結果から見える、本校の子どもたちの良さや課題についてお知らせします。

良さ

<国語>

- 全体的に、基本的な言葉の知識が身につけていて、適切に使うことができる。
- 物語文の内容を正確にとらえて読むことができる児童が多い。
- 話題となっていることの要点をとらえて聞くことができている。



<算数>

- 全体的に、基本的な計算の仕方を理解していて、的確に計算できる。
- 示された場面から正しく立式できる児童が多い。
- 立体図形の面の関係や単位の関係などについて正しく理解している。

課題

<国語>

△目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして文章を書くことにやや課題がある。



- ・学習の中で分かったことや疑問に思ったことなど、自分の考えを書いたり述べてたりして伝え合う活動を取り入れ、友達の考えと自分の考えを比べたり、互いの考えの良さに気づいたりできるようにし、考えを深めて書けるようにしていきます。
- ・相手意識・目的意識をもった活動ができるように単元を構成し、伝えるために必要なことを選んだり、効果的な構成を考えたりできるようにします。



<算数>

△割合について、目的に応じて資料を選んだり、身近なものに置き換えて考えたりする力に課題がある。



- ・知識だけでなく、活用できるように、実際の場面に即した具体的な活動を取り入れていくとともに、必要に応じて既習事項にもどって練習を繰り返し、学習を積み重ねていくようにします。

<生活意識調査より >

【よさ】

- 「自分には良いところがある」と感じている児童の割合が多い。
- 友達と話合ったり、協力して課題を解決したりすることができている児童が多い。
- 宿題や家庭学習をしっかりと行っている児童が多い。



【課題】

- ◇地域や社会の出来事に関心のある児童は多いが、地域の大人とすすんで関わっている児童は少ない。
- ◇読書は好きな子が多いが、図書室や地域の図書館を利用する児童は少ない。